

# ～花を生かした街並みづくり～ タウンウォッチングの参加者を募集

町では、花を生かしたまちづくりの一環として、タウンウォッチングを開催します。普段は見慣れた市街地の花壇や街路樹を、緑づくり・花づくりの専門家である講師を招き、一緒に歩きながらアドバイスを受けることによって、まちのよりよい景観づくりの参考にします。町民のみなさんのご参加をお待ちしています。

開催日 8月9日(金)  
参加対象 町民の方(定員40人)  
申込期限 8月7日(水) 定員になりしだい締め切ります  
講師 笠 康三郎氏(有限会社緑花計画代表取締役、  
フラワーマスター認定講習会講師。札幌市)



内容(いずれかの参加も可能です)  
①タウンウォッチング(市街地の2～3キロを歩きます)

集合時間 午後1時30分  
集合場所 林業研修会館2階集会室  
<コース(予定)> 役場～大通り～一条通り(五差路～加賀谷木材前)～相生津別停車場線(新町住宅街～国道との交差点)～さんさん館～五差路～津高橋～共和住宅街～河岸公園...(午後4時終了予定)  
必要なもの: 筆記用具・飲み物・帽子・(小雨時)合羽、長靴  
雨天時: 小雨決行しますが、状況に応じてバスでの見学に変更します。

②講評  
開始時間 午後6時  
会場 さんさん館 タウンウォッチングを通じての、講師による講評を伺います。

問い合わせ・申し込み先 住民企画課 住民企画グループ ☎76-2151(内線216)

## 平成25年度 自衛官等募集案内

募集種目	応募資格	受付期間	試験期日(1次)
航空学生 海・空	高卒(見込含) 21歳未満	8/1(木) ～9/6(金)	9/21(土)
一般曹候補生		8/1(木) ～9/6(金)	9/16(月) 9/17(火)
自衛官 候補生	18歳以上 27歳未満	年間を通じて 行っています	9/24(火) 9/25(水)
			8/1(木) ～9/6(金)
防衛大学校学生		前期: 9/5～30 後期: 1/22 ～2/1	前期: 11/9(土) ・10(日) 後期: 3/1(土)
防衛医科大学校 (看護学科)	高卒(見込含) 21歳未満	9/5(木) ～9/30(月)	10/19(土)
防衛医科大学校 学生		9/5(木) ～9/30(月)	11/2(土)・3(日)
高等工科大学校 生徒	中卒(見込含) 17歳未満	北見地域事務所 お問い合わせください	

問い合わせ先 自衛隊北見地域事務所 ☎0157-23-6826  
募集コールセンター(受付時間12時～20時)  
フリーダイヤル ☎0120-063792  
ナビダイヤル ☎0570-045818(携帯電話)

## 納涼盆踊り大会

8月15日(木)  
午後6時30分から

悪天候の場合、16日午後6時30分に順延となります(開催の問い合わせ先は下記のとおり)  
毎年好評のアメリカン盆ダンス  
目指せ!優勝賞品 子ども・大人仮装盆踊り  
津別の特産品が当たるお楽しみ抽選会

会場 津別神社境内  
仮装申し込み 当日会場で受け付けます  
問い合わせ先  
津別観光協会事務局(役場内)  
☎76-2151(内線315)



駐車場は、商工会館、さんさん館、町営駐車場(林協横)等をご利用ください。



第63回社会を明るくする運動  
「ふれあい町民のつどい」開催  
7月19日、中央公民館で「ふれあい町民のつどい」(社明運動津別町推進委員会主催)が行われました。  
佐藤多一推進委員長の主催者あいさつに続き、美幌地区保護司会津別分区分長の福井全雅さんが法務大臣メッセージを紹介。標語表彰式では「社会を明るくする運動標語コンクール」入賞者に賞状と記念品が贈られました(最優秀賞作品を11ページに掲載)。  
後半は、日本人初の北極点への単独無補給歩行到達を目指す北極冒険家・荻田泰永さんによる講演があり、壮大な挑戦への思いが込められた荻田さんの話に、参加者は真剣な表情で聴き入っていました。この講演の司会役は、津別観光コンシェルジュである安達祐子さんに務めていただきました。



第56回津別高等学校校祭  
仮装パレード&パフォーマンスで競演  
7月13・14日の両日、第56回津別高等学校祭が開催されました。  
13日に行われた仮装パレードでは、「リラックマ(1年)」、「セサミストリート(2年)」、「ねぶた(3年)」と、それぞれテーマに合わせて仮装した生徒たちが山車を引き、津別高校からさんさん館まで行進。引き続き同館ウッドデッキで仮装パフォーマンスが行われ、生徒たちの熱気あふれる踊りに、観客からは盛んな拍手が送られていました。  
今年では来場者の投票による審査も行われ、「山車」部門は2年生が、「パフォーマンス」など3部門は、本格的なよさこい踊りを披露した3年生が優勝しました。

## 地域おこし協力隊のご紹介①

地域おこし協力隊とは、総務省の事業で、首都圏等から地域へ移住し、地域の生活支援や地域活動に協力し、将来は地域で就業または起業し、地域の活性化を目指すものです。



福士 大輔(ふくし だいすけ)さん  
/ 網走市出身 / 27歳

今月から、「地域おこし協力隊」として来町した5名の方を順次ご紹介いたします。  
第一回は、6月17日から上里地区で活動している福士大輔さん。  
札幌のアウトドアショップに勤めていた福士さんが地域おこし協力隊に応募したのは、生まれ育った道東に対する思い入れと、自然の中で地域に根付いた仕事をしたいという気持が強かったからだそうです。  
現在の活動内容は、津別峠で行われている朝の雲海ツアーのサポートや、上里町民の森自然公園の整備作業などが中心。プライベートでは自宅前の畑で野菜作りに挑戦したいそうですが、「あまり経験がないので、詳しい方はアドバイスをお願いします」。